

市民意見提出手続実施結果報告書

令和2年3月3日

市民の皆さんなどからいただいた御意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案	
実施期間	令和2年1月20日 ~ 令和2年2月18日	
意見の件数	8件	
	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>今回は第2期の総合戦略案ということで、立派な計画書(Plan)が出来上がっていますが、第1期の評価(Check)と対策(Action)は、どうなったのでしょうか？</p> <p>PDCAがどの様に機能して今回の計画に活かされたのかが判り難い内容となっていますので、業績評価指標(KPI)等の適切な評価プロセスが明記されると、より充実した内容になると思います。</p>	<p>現行のさぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価については、重要業績評価指標(KPI)の目標値の達成に向け、毎年、関係部署において進捗状況を確認し、必要に応じて総合戦略自体を改訂するなど、次年度以降の改善につなげるとともに、その結果や改訂の内容をホームページで公表してきました。</p> <p>今回、総合戦略の期間全体を通しての進捗状況を振り返るため、KPIの推移を踏まえながら、具体的な施策ごとに、現状と課題、今後の方向性について自己評価を行うことで効果検証を行うとともに、有識者会議の意見も求め、その結果を第2期総合戦略の策定に生かしました。</p> <p>御意見いただいた評価プロセスについては、素案の検討に当たり、有識者会議等に提出した資料を、第2期総合戦略公表の際に合わせて公表する方向で検討してまいります。</p>
2	<p>本総合戦略は、さぬき市人口ビジョンで示した「2060年人口31,000人の維持」に向け、人口減少対策を最優先に定めたとされています。</p> <p>このビジョンで示した目標値(31,000人)</p>	<p>今回の人口ビジョン(改訂版)で示した人口の目標値は、国・県の状況も踏まえたもので、高い目標値ではありますが、人口減少が地域社会に与える負の影響を回避するためにも、目標に向けて総合戦略等に掲げた取組を地道に続けてい</p>

<p>は、合計特殊出生率や社会増減など数字を希望的観測により仮定し算出しており、社会研推計値（23,000人）に比べ楽観的で現実味の薄いものです。</p> <p>何れにせよ今後暫くは、急激な人口減少と高齢化は避けられない状況ですので、人口減少対策に真正面から取り組むより、この現実に応じた対策の方が肝要と考えます。</p>	<p>く必要があります。</p> <p>そのためには、人口減少を抑制するための取組と御意見にもあるような人口減少社会を前提とした取組の両面から必要な対策を講じていくことが重要であると考えています。</p> <p>今後とも、市外への人口の流出に歯止めをかけるだけでなく、流入を促進し、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現を支援していくことで出生数の増加等につなげるとともに、市民の皆さんがいきいきと住み続けられる地域社会を構築し、「人口減少の克服と地域活力の向上」の実現を目指してまいります。</p>
<p>3 特に、高齢化と後継者不足という問題が最も顕著に表れているのが地方の農家です。当市においても既に農林業の従事者数が激減しており、今後は更に拍車が掛かってくるものと予測されます。これに伴い耕作放棄された遊休農地が各所に見られるようになり、生産性だけでなく環境面でも深刻な事態に陥ることが現実味を帯びて迫っています。</p> <p>本計画中の基本目標1にある「遊休農地の活用」では、KPIとして設定した遊休農地活用事業で再生した農地面積は、H28～H30の間に僅か0.5haしか達成できていません。これはさぬき市の遊休農地全体から見れば限りなくゼロに等しい数字ではないでしょうか。</p> <p>遊休農地の活用手段については、安倍政権が掲げた成長戦略の一環として平成26年に整備された農地中間管理機構（農地バンク）などがありますが、様々な課題があり全国的に見ても非常に低い成果しか得られておらず、市町村等との協力体制の構築に向けた見直しが進められています。</p> <p>遊休農地の活用は、簡単に解決できる問題ではありませんが、当市は台風などの自然災害のリスクが低く、温暖な気候にも恵まれています。この難題解決に向け、国や関係機関、地元農家等と積極的に協働しチャレンジする</p>	<p>遊休農地の活用については、現在取り組んでいる「遊休農地活用事業」を市ホームページや広報紙を通じて広く周知し、より一層の事業の推進を図ってまいります。</p> <p>また、新たな遊休農地の発生を未然に防止するため、農地中間管理機構は、農地の相談窓口として重要な役割を担っています。農業委員会等の関係機関と協力しながら、積極的に遊休農地の解消と農地の保全に努めたいと考えています。</p>

<p>体制の構築を含む戦略的な計画を策定されては如何でしょうか。</p>	
<p>4 5 町合併時に作成された「新市建設計画」に記載されている新市未来像(情報さきがけ都市&gt;(8)新たな豊かさ高度な利便性を増幅する情報化のまちづくり)に関して情報さきがけ都市に似合う戦略政策の記載が無い。</p> <p>今日では、Society5.0の実現に向けた技術(AI、IoT等)を活用して、地域の課題解決や地域の発展、企業・地域産業の発展が必要である。</p>	<p>Society5.0が目指す社会は、IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であり、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、様々な課題を克服することが期待できると言われています。</p> <p>現在、本市を含む瀬戸・高松広域連携中枢都市圏では、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携し、地域課題の解決を図るため、データの利活用等に取り組んでいくための検討を行っています。</p> <p>現時点では、まだ検討段階であるため、第2期総合戦略には掲げていませんが、こうした取組も含め、情報さきがけ都市にふさわしい取組を進めることについて、今後、検討してまいります。</p>
<p>5 若者などの移住・定住の促進には高松市男木町に見られるように情報インフラ環境と地域自然環境の充実が絶対的に必要事項となり、さぬき市半島地域(小田や北山地域)に移住・定住特別地域を選んで強力的に進める事が必要である。</p>	<p>本市の半島地域は、自然環境が豊かで、田舎暮らしを希望されている方にとって大変魅力あふれる地域です。御意見も参考にしながら、まずは、本市を移住・定住先に選んでいただけるよう、地域資源の掘り起こしや、本市の良さの情報発信に努めたいと考えています。</p>
<p>6 この度の意見書は「まち・ひと・しごと」について「守る・つなぐ・進化する」という内容で、考えてくださいとのことで、いろいろの現状分析が示されているが、そのほかにもさぬき市はたくさんのスローガンを持ってそれらと連携させるのがまた一つ問題がある。以下に私の知っているスローガンを列記してみる。(中略)たくさんの説明・スローガンがありますが「まち・ひと・しごと」について考えるとき、役所の仕事ではなく、住</p>	<p>平成31年3月に策定した第2次さぬき市総合計画中期基本計画においては、前期基本計画に引き続き、人口減少対策を優先的かつ重点的に実施すべきプロジェクトとして掲げており、総合戦略は、総合計画における分野別の方針等を踏まえながら、人口減少対策という最重要課題に対応するための具体的な取組として位置付けています。</p> <p>また、総合戦略では、第2次さぬき市総合計画で定めたまちづくりの基本理念「守る つな</p>

<p>む人がいかに楽しく、幸せで、豊かで、ときめく街であるかがもんだいであろうとおもわれます。また他の地方から見てもあそこは楽しそうだ、ぜひ住んでみたいと思うようなまちにしてゆかなければいけないと思います。</p>	<p>「進化する」を基本理念としており、この理念の下、本市への愛着度と定住志向を高めていくための取組をより一層進めてまいります。</p>
<p>7 私は、市の考える「まもる」「つなぐ」「進化する」に沿ったような答えにはならないですが、テーマシティにしてすべての物が近くで事足りるまちにしなければと思います。</p> <p>さぬき市は若者が見逃せない町。夜になると、かわいい女の子、イケメン男子が集って、イケメンのバーテンダーが出してくれるさぬき市ならではのカクテルを飲み、星空を眺めながら愛を語るそんな街。愛が実り結婚すれば子供が安心して出産できるしっかりした病院がある。子供が生まれたら安心して子育てできる保育所・学校があり、いつでも安心して買い物ができる大型スーパーマーケットがある。日曜日には映画やコンサート・乗り物・レストランなどのあるテーマパークがあり、一家そろって楽しめる町。そしてたくさんの若者や子供が走りまわる街にしなければいけないと思います</p> <p>夢を語ればこんなことになりますがこれを満たすためには何をすればいいかということですが、カギを握るのは鴨部の森林公園か、大串半島でしょう。鴨部の森林公園は費用的に無理でしょうが、大串は大部分の設備が整って、テアトロンは晴れていれば毎日予定を入れて行事をする。ワイナリーでワインカクテルとディナーの日を作る。後は広場を遊園地にしたりトテ馬車を動かす。温泉も掘削が出来ているし、大串は駐車場さえあれば何でもなるいい所です。</p>	<p>総合戦略では、さぬき市への愛着度の向上や交流人口の増加を目的に観光分野の施策を進めることを掲げています。</p> <p>特に大串半島については、本市の目指す新たな観光形態の一つである着地型・滞在型の観光推進に資する地域資源として、大きな期待が寄せられており、瀬戸内海国立公園内でもあることを見据えた自然と調和した施設の整備について検討を進めているところです。</p>

<p>8 後は大型ショッピングモールで中に保育スペース、総合診断科の医療施設などを含んでいるものがあればよいかと思えます。さぬき市は働く場所は気にしなくてもいいかと思えます。いざとなれば住環境のみを提供して、衛星都市機能としても活用できるからです。</p> <p>医療関係は最悪ですが、市民病院が香川大学医学部に依存している限り改善しないのでこれは諦めます。</p>	<p>現在のところ、市内に御指摘のような商業施設はありませんが、県内の大型商業施設等においては、事業所内保育施設を設けているケースもあり、一時保育や休日保育などサービス利用の選択肢が広がり、子育て支援サービスの充実につながることを考えております。そうした大型商業施設は、市民生活にとって魅力あるものではありませんが、誘致等に向けては様々な課題も想定されることから、貴重な御意見として承り、医療サービスの充実も含め、まずは今後の人口減少社会を見据えた地域の住環境の向上に努めたいと考えています。</p>
---	--

#### 施策等の案についてのお問合せ先

さぬき市役所総務部政策課

住所：〒769-2195 さぬき市志度 5385 番地 8

電話：087-894-1112 ファクシミリ：087-894-4440

電子メール：seisaku@city.sanuki.lg.jp